

# マイスターだより

川西町立小松小学校  
令和7年9月1日（月）  
文責：情野 夏美

## 2学期も様々な取り組みへの挑戦を！

2学期がスタートして2週間が経ちました。毎日の授業の中で、ICTの活用や児童主体の場面を設けていただきありがとうございます。2学期もマイスターだよりで様々な情報を発信していきますので、日々の授業の参考にいただければ幸いです。

先日、第2回ベーシック研修会がありました。その中で、「日常的な授業改善に資するICT活用について」と題して、フューチャーインスティテュート株式会社の佐藤靖泰氏よりご講義いただきました。その内容をお伝えします。当日の資料も回覧しますので、ぜひご覧ください。

また、自由進度学習に関連する本を4冊ご紹介します。回覧しますので、ぜひ、気になった本、気になったページだけでもいいので読んでみてください。

【佐藤靖泰氏の講話より】

### 1、マイスターの事例発表より

大石田中

“見える学力”の向上→授業の質を高める←効果的にICTを活用

長井小・荒砥小・屋代小

配置校でも実施→重点校に還元→配置校との共有

### 2、全国学力状況調査（山形県）より

△用語の意味の理解→解く知識はあるが、問題や言葉の意味が分かっていない可能性も高い。何が分かっていないのかを見極めて指導する。

△記述・説明が書けない→デジタルでもアナログでも、書く経験をさせる。

△ICTの活用頻度が低い→1分でも、5分でも使い、使う回数を増やしていく。

△ICTを使ったまとめや発表→全国平均が高い！どんどん使っていく。

### 3、個別最適な学びと協働的な学び

今後は、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることが大事だそうです。そして、デジタル学習基盤の活用を前提に指導していくことも大切だそうです。デジタルかアナログを選ぶのは子ども自身で、選ばせる前に、どちらも経験させておく必要があるとのことでした。

### 4、自由進度学習について

「自由深度学習」と呼んでいる学校もあるほど、児童の深い学びにつながるそうです。子どもに学びを任せ、子どもが自分の学びを自己調整しながら学んでいくことが求められます。授業改善のための4W1H（何をやるか、いつやるか、だれとやるか、どこでやるか、どのようにやるか）を踏まえて、授業をしていくそうです。

## 【自由進度学習に関連する本の紹介】

### ① 『個別最適な学びと協働的な学び』 奈須正裕

山形大学教授野口先生のご講義の中で、話題にあがった天童中部小の取り組み（自学・自習／フリースタイルプロジェクト／マイプラン学習）が紹介されています。また、子どもが自立的に学びを進める学習の基盤となる子ども観の問い直しと、実践創造の原理としての自己決定的学習、環境による教育、道具手立てであるICTの可能性について触れられています。



### ② 『超具体！自由進度学習 はじめの1歩』 難波駿

自由進度学習を始めるにあたって、何をどのようにしたらいいのかが詳しく書かれています。具体的な実践例も紹介されており、5分から始められるものから、教科横断的に取り組むことがものまで紹介されています。自由進度学習の可能性を感じる一冊です。私も紹介されている中の、漢字と音読で10分の学習を取り組んでみようと思っています。



### ③ 『「個別最適な学び」を実現する算数授業のつくり方』 加藤希支男

算数で個別最適な学習を行うにあたってのポイントが丁寧に記載されています。また、個別学習は、一斉学習があってこそその学習であることを知ることができます。単元の全てを子どもに任せるのではなく、一部を子どもに任せ、任せた部分の共有を行うというやり方があるそうです。自由進度という、子どもに丸投げする感じがあって不安だという方もおられると思いますが、全て丸投げせずともできるやり方があることをこの本から学ぶことができます。6年生の実践例が多く紹介されています。



### ④ 『小学校算数単元内自由進度学習のデザイン』 今井啓介

算数の自由進度学習について、どのように始めたらいいのか、何をしたらいいのかが詳しく載っています。1年生から6年生までの単元構成も1単元分紹介されており、真似しやすそうです。薄いので、さくっと読むことができます。



## 【教科担任マイスター制度事業に係る実践の発信サイト】

教科担任マイスター重点校による実践や、ICTの効果的な活用等に向けた取り組みについて掲載されている発信サイトがあります。ぜひ、ご覧ください。小松小の研修報告については回覧します。